



平成 30 年 3 月 30 日

各 位

会社名 夢 展 望 株 式 会 社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 濱 中 眞 紀 夫  
(コード：3185 東証マザーズ)  
問合せ先 専務取締役管理本部長 田 中 啓 晴  
(TEL. 072-761-9293)

### 本日の一連のリリースに関する補足説明資料に関するお知らせ

本日、当社は、下記の通り適時開示を行っております。開示項目が多岐にわたりますので、その一連の内容についてまとめてご説明申し上げます。

#### 記

##### 1. 本日のリリース

- ・連結及び個別の債務超過解消（見込み）のお知らせ
- ・個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ
- ・第三者割当により発行される第7回新株予約権(行使価額修正条項付き)の発行及び新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー・プラス)の締結に関するお知らせ
- ・連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ
- ・連結子会社における資金の借入に関するお知らせ
- ・特別利益の発生に関するお知らせ
- ・借入金の一部返済及び資金借入れ（借換え）に関するお知らせ
- ・(開示事項の経過) 親会社からの借入に関するお知らせ

##### 2. ご説明

別紙の「本日の一連のリリースに関する補足説明資料」をご参照下さい。

以上

別紙

夢展望



# 本日の一連のリリースに関する補足説明資料

2018年3月30日

夢展望株式会社

代表取締役社長 濱中 真紀夫

(東京証券取引所マザーズ 証券コード3185)

番号	表題	概要
1	連結及び個別の債務超過解消（見込み）のお知らせ	平成30年3月期決算において、 <b>連結及び個別ともに債務超過を解消する見込み</b> 。平成30年3月期の有価証券報告書を近畿財務局に提出し連結債務超過解消を発表した時点で上場廃止に係る猶予期間入り銘柄からの解除
2	個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ	平成30年3月期業績見込みが前期より大幅改善。 <b>対前期比売上高39.6%増加、経常利益及び当期純利益は大幅黒字化</b>
3	第三者割当により発行される第7回新株予約権(行使価額修正条項付き)の発行及び新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー・プラス)の締結に関するお知らせ	<b>コミット型新株予約権による27.5億円の資金調達(4ページ参照)</b>
4	連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ	連結子会社である夢新開発（香港）有限公司から、約132百万円の配当金を受領。2018年3月期の単体決算において <b>132百万円を受領配当金</b> として計上
5	連結子会社における資金の借入に関するお知らせ	連結子会社である株式会社トレセンテが、りそな銀行より4億円を借入。借入の理由はファイナンス（現存借入金の借り換え）
6	特別利益の発生に関するお知らせ	連結子会社である株式会社トレセンテへの貸付債権（額面561百万円、取得価額1円）の一部返済により、2018年3月期の単体決算において <b>419百万円の債権取立益</b> を計上
7	借入金の一部返済及び資金の借入（借換え）に関するお知らせ	りそな銀行及びみなと銀行を借入先とするシンジケートローンのうち400百万円を繰上返済、同日付でローン残額250百万円を6カ月満期で借り換え
8	（開示事項の経過）親会社からの資金の借入に関するお知らせ	親会社であるR I Z A Pグループ株式会社との間で極度貸付約定書による契約をロール、極度額を100百万円増額。満期1年間

## 個別損益の通期での着地見込みは、 売上高、経常利益ともに大幅改善 + 債務超過解消

(単位：百万円) (J-GAAP)

### PL

	2017年3月期	2018年3月期 見込み	増減額	前期比
売上高	2,379	3,322	+943	139.6%
経常利益	▲183	115	+298	-
当期純利益	▲184	578	+762	-

### BS

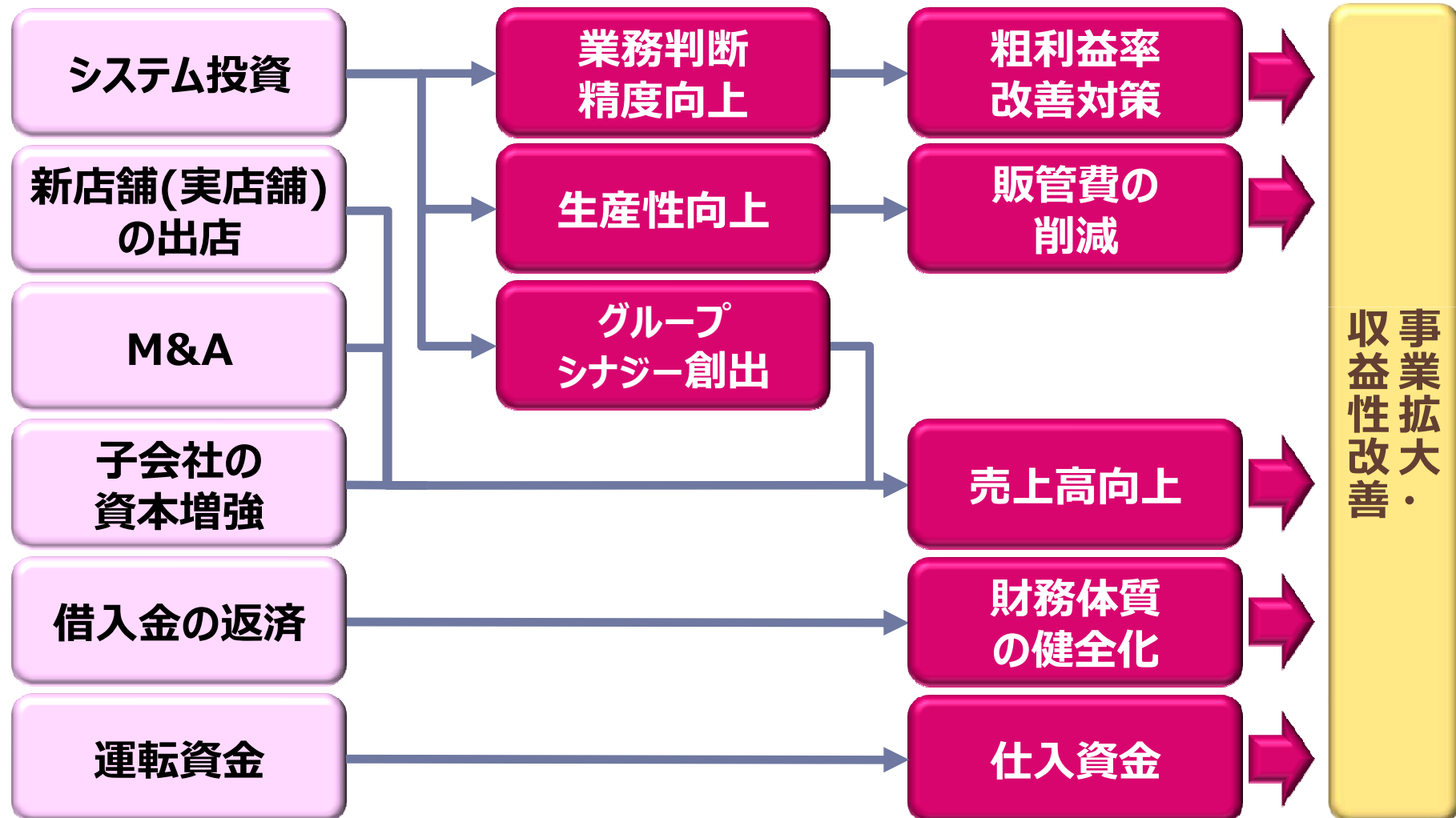
	2017年3月期	2018年3月期 見込み	増減額
純資産合計	▲432	44	+578

※本記載の当期実績は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
※本記載の当期実績は、この開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きが未実施です。

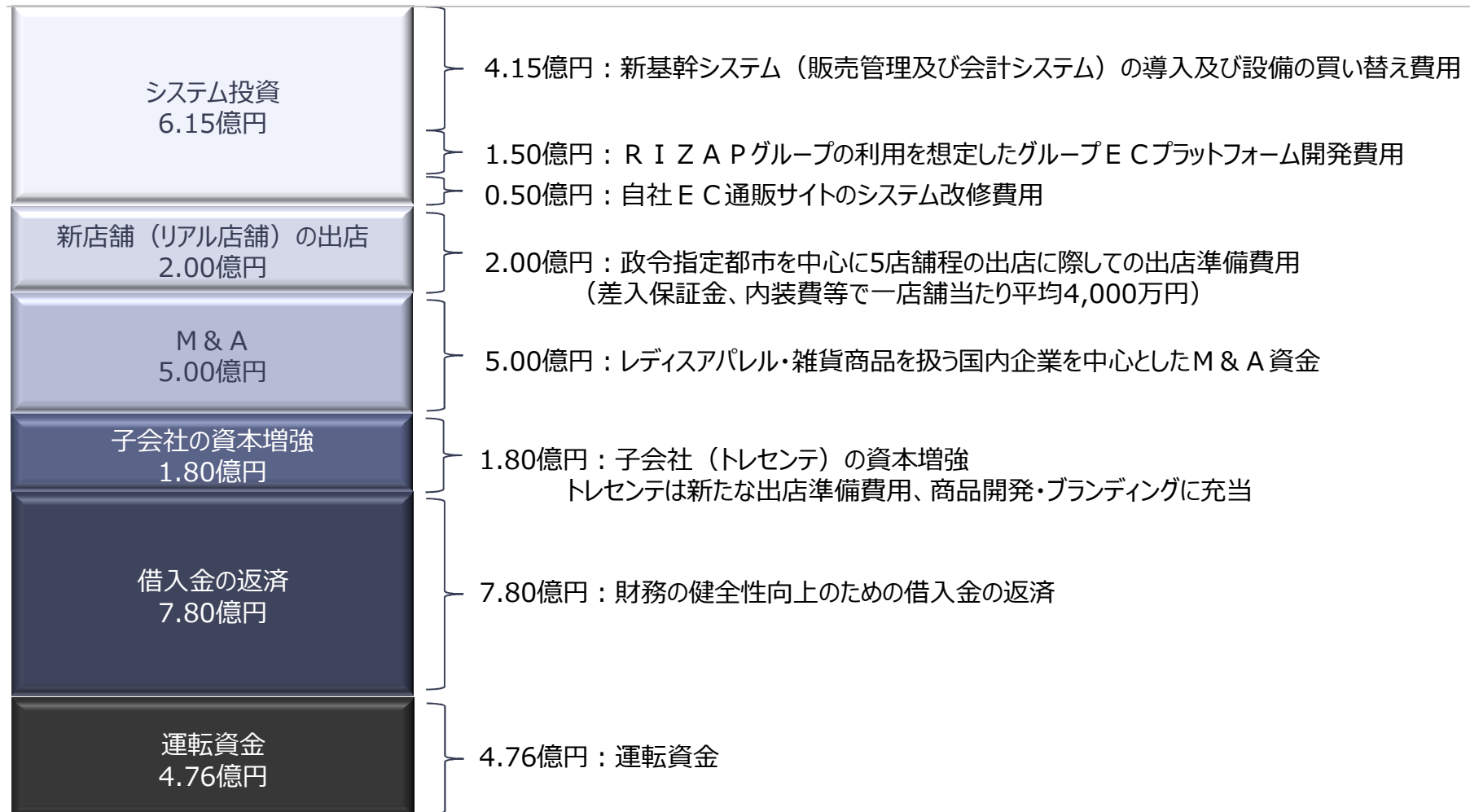
# 調達資金の使途と成長戦略

夢展望

夢展望は、平成26年9月期に業績が大幅に悪化し、その後も業績不振から脱却できない状態が続いた為、平成29年3月期事業年度には債務超過と成った。その状況を打破するために、業績改善の取組みを継続して来たが、売上高の改善からその傾向が現れ始め、収益の改善傾向も見える状況と成った。この状況を継続し、業績の改善スピードを更に速めるために、本資金調達を実施する事とした。



## 調達予定総額 27.5億円

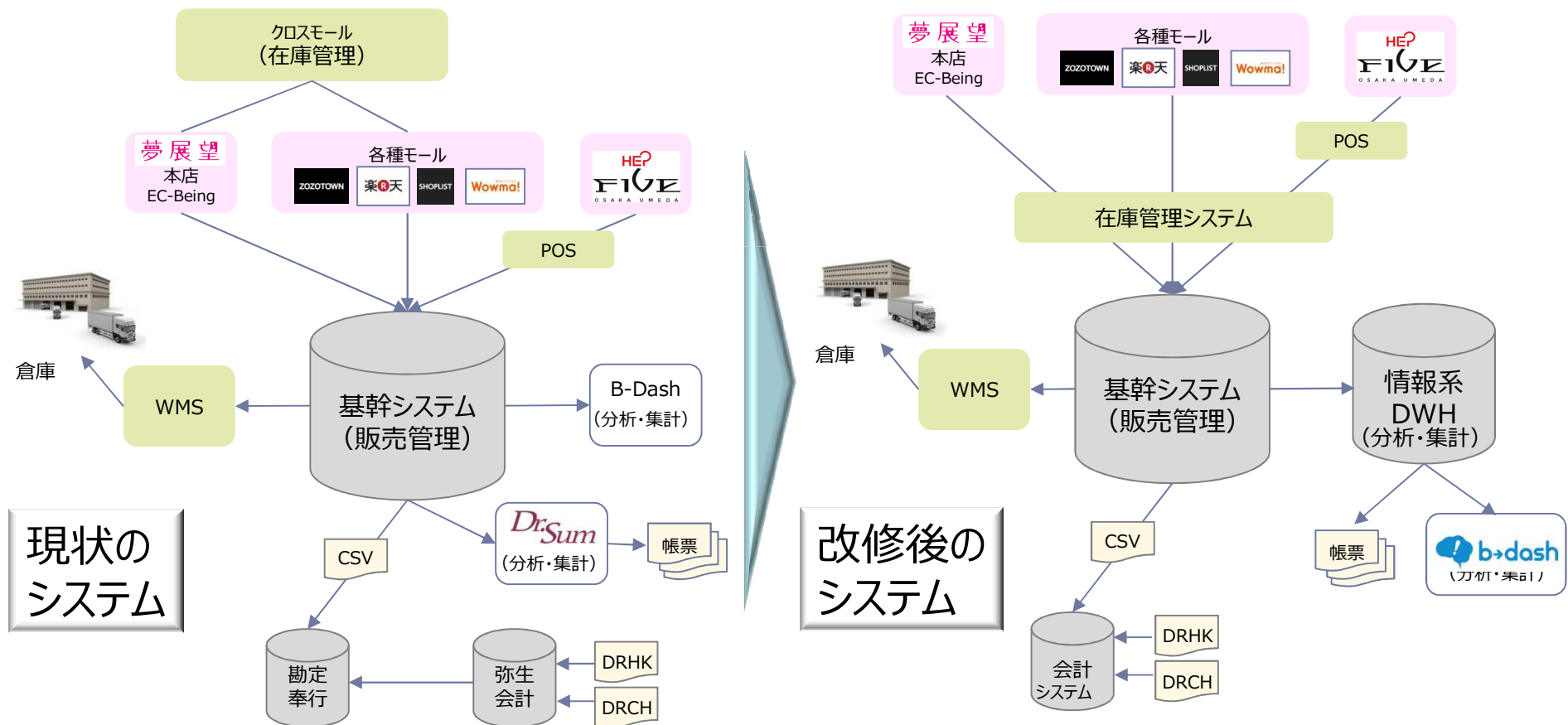


# 調達資金の使途①\_システム投資

夢展望

導入から相当の年数が経過している基幹システムが、全ての処理を担っているため、処理スピードや、多様な管理ニーズに対応出来ない状況が発生している。

これら基幹システムのリプレイスを含めたシステム投資は、6.15億円を予定しており、これらの投資により、精度の高い日常業務、判断スピードの向上が期待できる。



# 調達資金の使途②\_新店舗の出店

夢展望

現在実店舗は、大阪のHEPFIVEに1店舗のみと成っているが、今後は立地条件を吟味した上でリアル店舗を出店し、オムニチャンネル戦略を進めていく。

顧客との接点を最大化する事でファン化を進め、顧客LTVを最大化する。

1店舗当り4千万円。5店舗で2億円を充当する予定。

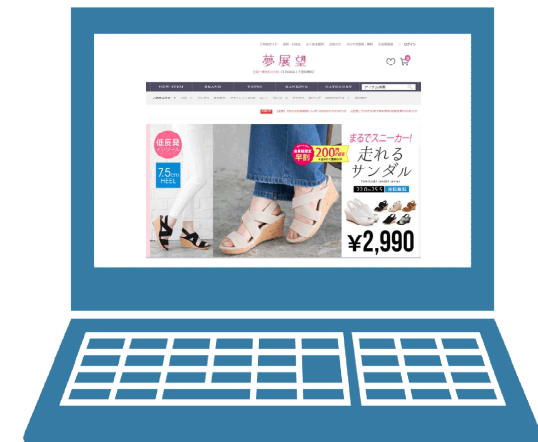
## オムニチャンネル戦略の方向性

実店舗で商品をチェック→ECサイトで購入

### ■ 夢展望 HEPFIVE店(34.5坪)



### ■ 夢展望 ONLINE STORE



- ✓ 顧客情報の共有
- ✓ 共通キャンペーンの実施
- ✓ 物流在庫情報の連動

ECサイトで商品をチェック→実店舗で購入



# 調達資金の用途③\_M&A

夢展望

2017年4月28日に株式会社トレセンテをM&Aした事を皮切りに、M&Aを成長戦略の柱の一つとしている。当社が持つアパレル企業としての強みや、EC企業としての強みを活かし、シナジーが見込まれる企業とM&A（資本業務提携を含む）を進めていく。現在未定ではあるが、当該領域に対して総額5億円を充当予定

2019年以降検討  
シナジーが見込める  
企業から検討継続

2018年中の検討  
レディスアパレル・雑貨商品企業

2017年4月28日～

 TRECENTI



夢展望

夢新開発(香港)

夢展望貿易(深圳)



## 調達資金の使途④\_子会社の資本増強

夢展望

連結子会社である株式会社トレセンテは、今後も既存の事業を拡大し、当社グループの成長の一翼を担う存在であるため、資本を増強し新たな店舗の出店(2店舗程度)や商品開発・ブランディングにかかる資金として1.8億円を充当して行く。



TRECENTI

Jewelry for happiness



銀座本店

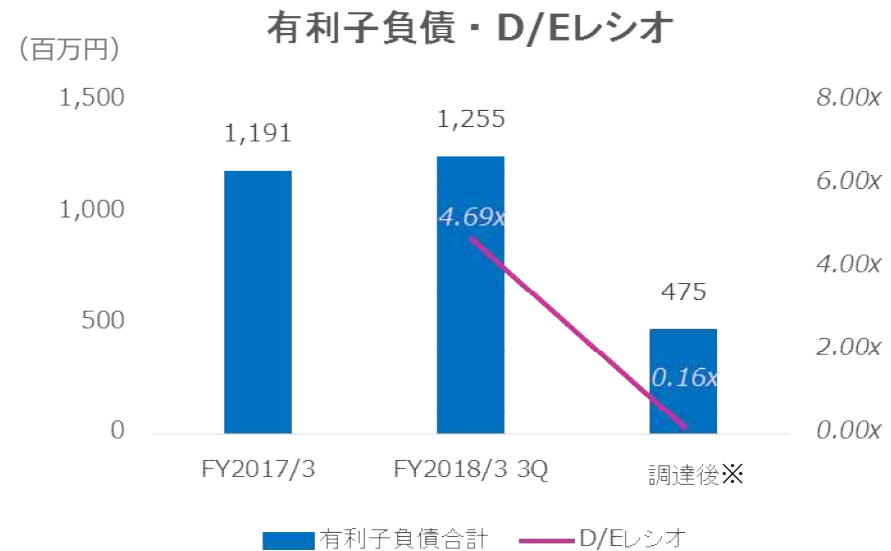
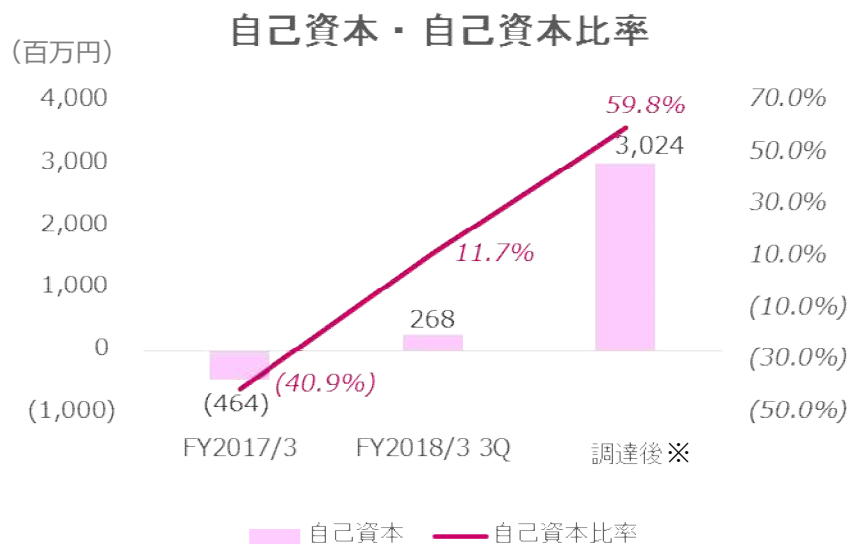
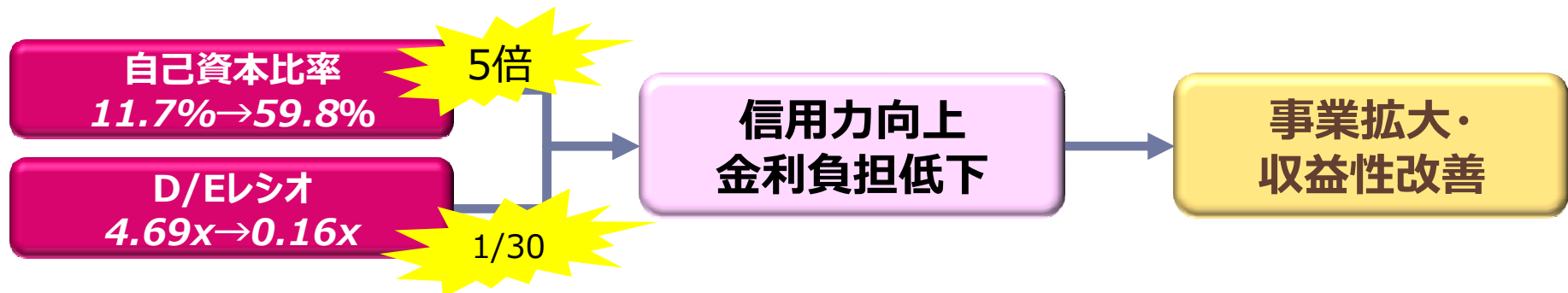


京都店

# 調達資金の用途⑤\_借入金の返済

夢展望

平成30年12月末時点での借入金残高は13.2億円と成っており、機動的な事業拡大投資の足枷と成っていた。今回の資金調達については、企業価値向上の為の事業拡大投資への充当を優先するものの、自己資本比率等の財務の健全性を高める事も重要となる為、7.8億円を借入金の返済に充当する予定とした。

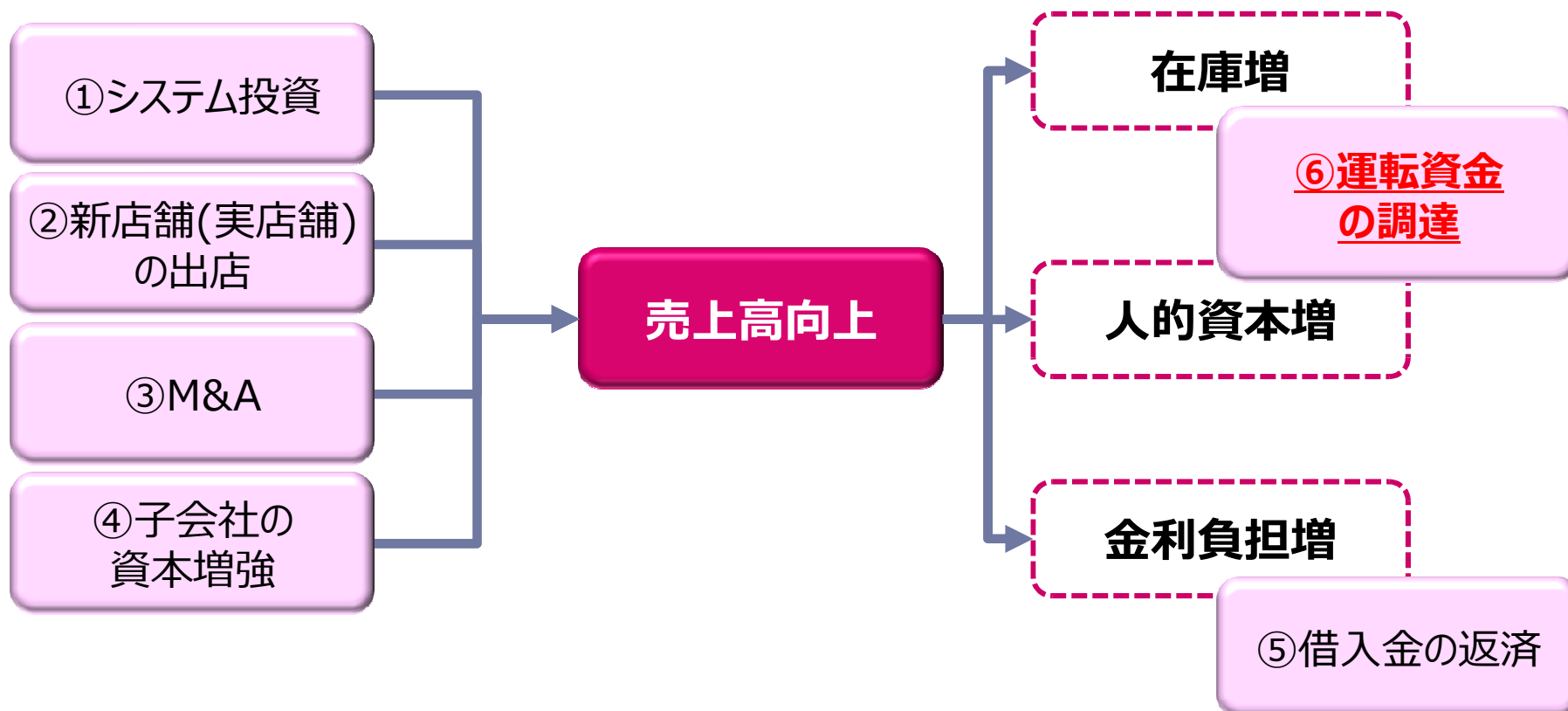


※調達後の数値は、FY2018/3 3Qの実績値に対して、本件調達による影響（自己資本2,756百万円増、有利子負債780百万円減）を加味して計算した数値です

# 調達資金の使途⑥\_ 運転資金

夢 展 望

①～④の施策により売上高拡大を見込む上で、仕入資金増加・人的資本増加による資金需要を手当てる事は当社にとって必須。⑤の施策により、借入金を返済し財務体質の健全化を目指す中、売上増加に伴う変動費についても、資本性資金により確保することで、売上拡大・財務体質改善の両立を目指す。

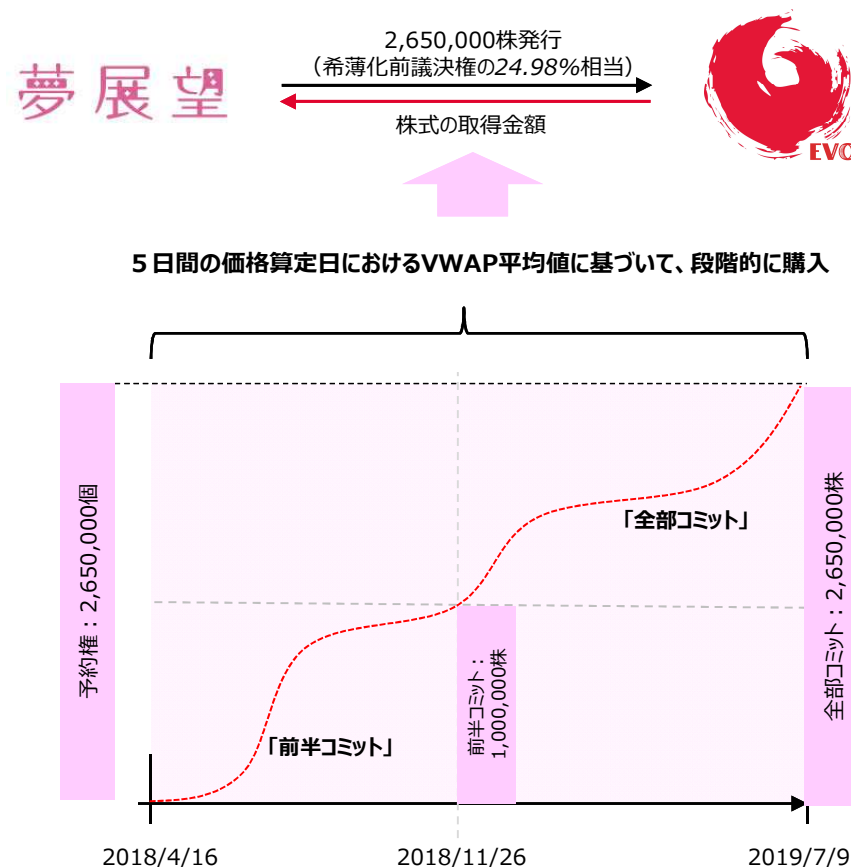


## コミット・イシュー・プラスによる蓋然性の高い資本調達

第7回新株予約権(コミット・イシュー・プラス)	
調達予定金額	約27.5億円
行使価額	当初行使価額:1,040円 (但し、本日発表の複数のリリースによる株価インパクトを考慮し、発行日終値が1,155円超である場合には、当初行使価額での行使は不可。より高い行使価額での行使が期待される)  5取引日毎に、直前5取引日間の平均VWAPの90%に修正
発行株数	265万株
全部コミット期間	約15か月で2,650,000個を原則行使コミット
前半コミット期間	約8ヶ月で1,000,000個を原則行使コミット
その他	任意の時点で過去1ヶ月平均・3ヶ月平均出来高が共に75,000株を超えていた場合には、残りコミット期間を半分に短縮

※ 本新株予約権は、発行株数が固定されている為、所謂MSCBとは根本的に異なる設計です

## コミット・イシューの基本コンセプト



※ 上述のコンセプトを、新株予約権を用いて実現  
 ※ 上記は新株予約権の行使のイメージ図であり、実際の新株予約権の行使結果とは異なる可能性があります。

## 免 責 事 項

**本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。**